

栗原川ウダイカンバ遺伝資源希少個体群保護林

希少-41

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 利根沼田森林管理署
所在地	群馬県沼田市
面積	11.75 ha
設定年	1998(H1)年
保護林の概要 (設定目的)	南東北及び関東地方において、他には類を見ないウダイカンバが高密度で生育する群落であり、学術上、また、遺伝資源の保護上貴重であることから、ウダイカンバが群生する群落の希少な個体群を保護するため設定した。



ウダイカンバ群落(2019.08.28撮影)



ウダイカンバ群落(2019.08.28撮影)

モニタリング調査概要

実施年度	2014、2019年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林詳細調査として、ウダイカンバの生育地において調査プロットを合計2箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。
結果概要	枯死や樹勢の衰えは殆ど見受けられず、当面はウダイカンバ林として維持されるものと考えられる。しかし、今後遷移の進行に伴いウダイカンバは消失し、ブナやシナノキ等が優占する林へと遷移していくと推測されるため、保存対象樹種であるウダイカンバの維持について検討する必要がある。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。